

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第 73 回理事会議事録

日 時:令和 5 年 7 月 21 日(金) 15:00~17:00

開 催:ZOOM によるWEB会議

出 席 者:大賀 正一(理事長)、菱木 知郎、真部 淳(第 65 回学術集会会長)小川 千登世、
奥山 宏臣、塩飽 仁、多賀 崇、高橋 義行、滝 智彦、藤 浩、家原 知子、
大植 孝治、加藤 元博、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之(以上理事)
淵本 康史、堀 浩樹(以上監事)

足立 壮一(第 66 回学術集会会長)、田尻 達郎(第 67 回学術集会会長)

欠 席 者:木下 義晶、富澤 大輔(以上理事)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中18 名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事大賀 正一は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)、定時社員総会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. コセルゴ処方に関する提言についてについて

大賀理事長よりレックリングハウゼン病学会より依頼のあった「神経線維腫症 1 型患者の叢状神経線維腫に対する MEL 阻害剤であるコセルゴ処方に関する提言」について、日本レックリングハウゼン病学会の西田理事長よりご説明をいただき、異議なく承認された。

3. 2026 年度学術集会会長の選任について

大賀理事長より、2026 年開催の学術集会会長への立候補者である松本公一(国立成育医療センター)について議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

4. 研究助成 規約・募集要項案についてについて

規約委員会 滝担当理事より、学術賞等選考委員会にて作成された研究助成 規約・募集要項案の規約委員会での審議結果が資料と共に示された。一部文言・記載内容については、規約委員会にて再度修正を行い、体裁を整えて次回理事会の議案とすることとなった。

5. 遺伝性骨髄不全症診療ガイドライン 2023 出版契約について

遺伝性骨髄不全症診療ガイドライン 2023 出版契約書・覚書の草案が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

6. 第 65 回学術集会優秀演題について

学術集会プログラム委員会 家原担当理事より、プログラム委員会で選出された 5 件の演題が優秀演題として示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

III. 報告事項

1. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会報告

真部会長より、第 65 回学術集会の参加登録は 8 月 1 日より開始となること、参加登録はオンライ

ン登録のみとなる旨、また、教育セッション、日韓シンポジウムなどはオンデマンド配信も予定しており、日韓シンポジウムの単位取得については、教育セッションと揃えて「オンデマンド配信」のみとする旨などが報告された。

2. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会報告

足立会長より、第66回学術集会について、現在プログラムなどの企画案について検討中である事が報告された。

3. 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

田尻会長より、第67回学術集会について、2025年11月19日(水)～21日(金)の日程で開催されることが報告された。

4. 保険診療委員会報告

保険診療委員会 小川担当理事より、保険診療委員会で対応した下記について、報告された。

- ・令和6年度診療報酬改定について厚労省ヒアリングに向け準備中である。
- ・未承認薬適応外薬検討会議からの依頼について
日本小児血液・がん学会となる前に個人から提出された神経芽腫に対する3-ヨードベンジルグアニジン131Iの開発要望II-5に対し、日本小児がん学会から提出された学会見解のアップデートあるいは新規要望としての再提出依頼があった。
- ・創薬力の強化・安定供給の確保等のための薬事規制のあり方に関する検討会について
2023年7月10日に第1回会議が開催され、小児用医薬品の開発促進に資する薬事審査等のあり方について検討された。
- ・イリノテカン点滴静注製剤の不採算品再算定に関する学会要望書の依頼について

5. 教育・研修委員会

教育・研修委員会 大植担当理事より、本会が選考業務を請け負う「公益財団法人がんの子どもを守る会2023年度海外留学助成事業」について本年の募集が開始されたことが報告された。

6. ゲノム診療・細胞療法委員会報告

大賀理事長より、ゲノム診療・細胞療法委員会の活動の一環として、関連勉強会の支援を、JCCGとの連携も図りながら積極的に行うことについて提案された。

7. 理事長報告

大賀理事長より、10月20日に韓国で開催されるKSPHOの学会で日本の小児血液・がんの活動についての講演が予定されていることが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和5年7月21日

日本小児血液・がん学会 第73回理事会

理事長 大賀正一

監事 堀浩樹